資料４

Ｒ7年度以降の訓練内容の割り振りについて

経緯
Ｒ５年度まで、避難所開設訓練と避難所運営訓練を分けて実施。
運営訓練は５校のみのため、概ね５年に１回程度しか運営訓練が実施されない。
５年に１回では、避難所運営委員会の構成メンバーが変わっている可能性が高く、実際の災害時の避難所運営に不安があるため、従来の開設訓練にあたっている避難所にも、南区から一定の訓練を割り当て、Ｒ６年度より区内全ての避難所で運営訓練とすることとした。

Ｒ６年度実施した割り振り訓練
★ゾーニング訓練（運営訓練該当避難所）
★ＨＵＧ訓練、ＤＩＧ訓練
★応急給水訓練または水道総務課出前講座
★応急救護訓練
★保健師による講座、防災課出前講座

2つ以上の避難所合同で訓練を行った避難所
●大谷口小学校・中学校
●大谷場小学校・大谷場東小学校・大谷場中学校
●辻小学校・南浦和中学校・浦和南高校

アンケートから
〇トイレの訓練が非常に役に立った。使い方が分かった。など
〇ＨＵＧ訓練は避難所運営の課題が分かった。役立つ。実践的。など
〇ブルーシートに区画の目印をつけておくとよい。早く敷けるように。など

来年度からの訓練の方向性（案）

全避難所必須の訓練
◆便袋を使用したトイレの設営訓練
◆避難者受付訓練（避難者カードを台帳に写す訓練ではなく、避難者カードに書かれた避難者を、避難所のどこに割り振っていくかを訓練する）
区から割り当てる訓練
◇ゾーニング訓練（今年度と同様に継続）
◇ＨＵＧ訓練　（５か所割り当て）
◇応急救護訓練　（希望制とするが、公平性を保つため、総務課で取りまとめて、直近で訓練をしていない避難所に割り当て）
◇応急給水訓練（応急給水施設がある避難所のみ　順番に割り当て）
◇保健師講座（２か所割り当て）
※ただし、割り当てがなくてもゾーニング等の訓練を毎年実施している避難所には、区から訓練の割り当ては行わないこととする。